



裏千家六代
六閑斎
Rikkansai



左から
竹二重切花入 銘芭蕉 六閑斎作 今日庵蔵
赤茶碗 銘遠山 六閑斎作 西方尼寺蔵
唐人笠炭斗 六閑斎好 今日庵蔵 / 瀬戸焼 尻張茶入 銘岩根 今日庵蔵

令和7年
春季特別展

六閑斎三百回忌 認得斎二百回忌

2025 Spring Special Exhibition

Commemorating the Rikkansai 300 th and Nintokusai 200 th Memorial

— Exploring the Old to Apprehend the New —

故きを温ね
新しきを知る

令和7年 4月17日[木] ▶ 7月13日[日]

前期 4月17日[木]—5月18日[日]
後期 5月21日[水]—7月13日[日]

休館日 | 月曜日、第1・3火曜日(但し、5月5日・6日は開館)、5月7日

開館時間 | 午前9時30分—午後4時30分(入館は午後4時まで)

入館料 | 一般1,000円、大学生600円、中高生350円 小学生以下ならびにメンバーシップ校の方は無料

呈茶 | 一般1,000円、メンバーシップ校の方は800円(予約優先・要別途入館料)

茶道資料館

Chado Research Center

〒602-0073 京都市上京区堀川通寺之内上る寺之内堅町682番地
裏千家センター内 TEL:075-431-6474



裏千家十代
認得斎
Nintokusai

左から
松皮香合 認得斎好 茶道資料館蔵
練口平丸釜 認得斎好 浄雪作
菊大甕 認得斎好 今日庵蔵 撮影:小笠原敏幸
舟花入 認得斎好 撮影:小笠原敏幸

裏千家十代 認得齋 Nintokusai



桶形水指 認得齋作 今日庵蔵



庭前梅木香合 認得齋好 茶道資料館蔵



手付箕盆 認得齋好 今日庵蔵 撮影：小笠原敏孝

呈茶席（有料・予約優先制）

立礼の茶席で抹茶と和菓子をお出ししています。

料金 | 一般1,000円、メンバーシップ校の方は800円

（予約優先・要別途入館料）

定員 | 各席16名

※開催日時等の詳細・予約方法は、ホームページまたは電話にてご確認ください。（予約は前日15時まで）

茶道文化検定Web版

第7回：8月1日（金）～10日（日）

第8回：11月7日（金）～16日（日）

※実施期間は10日間です。任意のタイミングで受検できます。

茶道資料館

Chado Research Center

〒602-0073 京都市上京区堀川通寺之内上る寺之内堅町682番地

裏千家センター内 TEL:075-431-6474

<https://www.urasenke.or.jp/text/gallery/>（日本語）

<https://www.urasenke.or.jp/text/resources/organ-konnichian/gallery/>（English）

令和七年は、裏千家六代・六閑齋（一六九四～一七二六）の三百回忌、さらに十代・認得齋（一七七〇～一八二六）の二百回忌にあたります。

五代・不休齋の早逝に伴って家督を継いだ六閑齋は、表千家六代・寛々齋（一六七八～一七三〇）について茶道修行に精励しました。三十三年の短い生涯にもかかわらず、卓越した美意識を発揮し、老成した茶味のある手造りの茶道具、好み物などを生み出しました。

また認得齋は、九代・不見齋から二十一歳で家督を受け、三十二歳で家督を継承しました。大名家への出仕のみならず、各地の商人とも深く交わり、裏千家の発展に尽しました。勤勉かつ厳格な人格であったと伝えられる一方で、文化・文政期の時流を反映した風雅な作品を数多く残しています。遠忌に際し、両宗匠に関連する書画・茶道具を通してその活動を紹介し、遺徳を偲ぶ展示とします。

裏千家六代 六閑齋 Rikkansai



黒茶碗 銘小倉山 六閑齋作



胴張裏 六閑齋好 三代中村宗哲作



竹茶杓 銘恵斗 六閑齋作 今日庵蔵

メンバーシップ校

京都芸術大学
立命館
光華女子学園
京都大学
京都工芸繊維大学
同志社
平安女学院
京都文教学園
京都精華大学
京都府立医科大学
京都府立大学
京都外国語大学
京都産業大学
京都先端科学大学
（加盟順、2025年3月現在）



【市バス】 ■JR京都駅中央口のりばB1より⑨ ■阪急大宮駅下車3番出口→四條堀川より⑨⑫ ※いずれも堀川寺ノ内下車、徒歩3分 ■京阪出町柳駅より⑫⑭⑯、堀川今出川下車、堀川通東側を北へ徒歩10分
【地下鉄】 ■烏丸線鞍馬口駅下車、西へ徒歩15分 ■東西線二条城前駅より市バス⑨⑫、堀川寺ノ内下車、徒歩3分